

活動名					
<b>どんぐり松ぼっくり工作</b>					
概要	○どんぐりや松ぼっくりなどの自然物を使って、思い思いに作品をつくる。				
ねらい	○自由な発想で思い思いに作品づくりを行うことによって想像力を養う。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○よく観察することで自然物に興味関心を抱くきっかけをつくる。				
関連教科等	生活・図画工作・理科・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	日中	対象	幼児～
場所	創作棟	人数	～80人／1部屋	所要時間	1～2時間
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの	
	材料となる自然物、ホットボンド、小刀、ナタ、木工用ボンド、のこぎり、はさみ等			野外で自然物を採取して使用することも可能	
進め方・展開例					
内容			留意点		
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。	
活動の説明	○例となる作品を見てイメージをつくる。 ○道具の使用方法を理解する。 ○作り方の流れを説明する。			○例となる作品と同じものを作るのではなく、自分の自由な発想で作るように伝える。 ○刃物やホットボンドの使用の注意事項を伝える。 ○創作説明用のシートを使用する。	
展開	○必要であれば、自然物を野外に取りに行く。 ○作品をつくる。 ・どんぐりや松ぼっくりのミニ人形 ・どんぐりゴマ ・どんぐりのやじろべえ ・松ぼっくりのモビール ・木で作るカブトムシとクワガタムシ 等			○危険な動植物への注意を促す。 (ハゼ、ウルシ、マムシ、スズメバチ等) ○刃物の取り扱いには十分注意させる。 ⇒「刃物の扱い方シート」を活用する。	
まとめ	○片づけをする。 ○お互いの作品で遊んだり、作品の発表をしたりして、お互いの作品のよさを認め合う。				
評価	○身近な木の実や落ち葉等の自然物に、おもしろさや不思議さを感じることができたか。 ○想像力をはたらかせて、思い思いの作品をつくることができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。				
発展	○野外活動や自然観察の延長として創作活動を取り入れてもよい。				